

## 平成25年3月期 第2四半期決算社長談話

本日開催された取締役会で平成25年3月期 第2四半期決算を報告しました。

JR北海道グループの平成24年4月から9月までの連結決算についての詳細は、別紙のとおりです。

**営業収益**は、基軸となる鉄道運輸収入では、お客様のご利用が東日本大震災以前の水準に回復したことや、北海道デスティネーションキャンペーンの実施などにより増収したことに加え、物品販売業、不動産賃貸業及びホテル業の売上が増加したことなどにより、前年に対して60億円増加した850億円となりました。

**営業費用**は、車両や軌道設備等の集中修繕工事の実施による修繕費の増加や、仕入経費の増加などにより、前年に対して50億円増加した924億円となり、**営業損失**は、前年に対して10億円改善した73億円となりました。

また、**営業外損益**は、経営安定基金運用益が減少したものの、前年から開始された支援措置による機構特別債券受取利息収益が27億円計上されたことなどから、前年に対し22億円増加した148億円となりました。

その結果、**経常利益**は、前年に対して32億円増加した74億円となり、特別損益や法人税などを調整した後の**四半期純利益**は、前年に対して33億円増加した59億円となりました。

石勝線における列車脱線火災事故の発生から1年余りすぎましたが、弊社では事故を風化させることなく、今一度原点に立ち返り、全社員が「お客様の大切な生命いのちと生活をお預かりくらししている」との自覚を持ち、お客様の安全を最優先とする企業として再生すべく取り組んでいるところです。

また、これから冬期を迎えますが、予防除雪などに取り組み、冬期輸送障害を最小限にとどめ、お客様に安心してご利用していただけるよう、グループ各社一丸となって万全の準備を行い対処してまいります。

今後とも皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年10月31日  
北海道旅客鉄道株式会社  
社 長 小池 明夫

# 平成25年3月期 第2四半期連結決算概況について

平成24年10月31日  
北海道旅客鉄道(株)

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から9月30日まで）における連結決算対象会社は、当社、連結子会社27社及び持分法適用関連会社1社の29社で、運輸業、物品販売業、不動産賃貸業、ホテル業及びその他事業を営んでおります。

当期間の連結経営成績は、基軸となる鉄道運輸収入が東日本大震災以前の水準に回復したことに加え、物品販売業、不動産賃貸業及びホテル業の売上が増加したことなどにより、営業収益全体では、前年同期に対して60億円増加した850億円となりました。

営業費用は、修繕費や仕入経費の増加などにより、前年同期に対して50億円増加した924億円となりましたが、営業損失は前年同期に対して10億円改善した73億円となりました。

また、営業外損益は、経営安定基金運用収益が減少したものの、機構特別債券受取利息収益が27億円計上されたことなどから、前年同期に対して22億円増加した148億円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期に対して32億円増加した74億円となり、特別損益や法人税などを調整した後の四半期純利益は、前年同期に対して33億円増加した59億円となりました。

セグメント別の営業成績（3ページに記載）は、運輸業では、鉄道運輸収入の大幅な増加などにより営業収益は前年同期に対して17億円増加しました。営業費用は、修繕費や動力費などが増加しましたが、営業損益に経営安定基金運用収益と機構特別債券受取利息収益を加えたセグメント利益は、前年同期に対して23億円改善した19億円となり、黒字に回復しました。

物品販売業では、北海道新幹線工事材料の販売が増加したことや小売業の売上が好調だったことから、営業収益は前年同期に対して11億円増加しましたが、仕入経費などの営業費用も増加したため、セグメント利益は前年同期並みの6億円となりました。

不動産賃貸業では、平成23年11月の「パセオ」グランドオープンなどにより賃貸収入が増加したことから、営業収益は前年同期に対して8億円増加し、セグメント利益は6億円増加した36億円となりました。

ホテル業では、「ロワジュールホテル旭川」を4月に取得したことなどにより、営業収益は前年同期に対して11億円増加し、セグメント利益は前年同期に対して1億円増加した3億円となりました。

その他事業では、情報サービス業の売上や「駅レンタカー」のご利用が増加したことなどにより、営業収益は前年同期に対して2億円増加し、セグメント利益は前年同期に対して1億円増加した7億円となりました。

なお、本連結決算は参考資料として作成し、監査法人の監査は受けておりません。

## 1. 四半期連結損益計算書

(単位：億円) (参考)(単位：億円)

	当第2四半期連結累計期間 〔平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで〕	前第2四半期連結累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕	増 減	比率(%)	JR北海道 当第2四半期 累計期間	増 減
営業収益 (うち鉄道運輸収入)	850 (343)	790 (329)	60 (13)	108 (104)	419 (343)	18 (13)
営業費用	924	873	50	106	530	17
営業利益	△ 73	△ 83	10	—	△ 111	0
営業外損益 (うち経営安定基金運用収益) (うち機構特別債券受取利息収益)	148 (120) (27)	126 (124) (—)	22 (△ 4) (27)	118 (96) (—)	156 (120) (27)	22 (△ 4) (27)
経常利益	74	42	32	175	44	23
特別損益	△ 2	△ 7	5	—	△ 3	4
税金等調整前四半期純利益	72	35	37	207	41	27
法人税等	9	6	2	140	0	0
少数株主損益調整前四半期純利益	62	28	34	224	—	—
少数株主利益	3	1	1	190	—	—
四半期純利益	59	26	33	226	40	27

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 2. 四半期連結貸借対照表

(単位：億円)

	当第2四半期 連結会計期間末 〔平成24年9月30日〕	前連結会計年度末 〔平成24年3月31日〕	増減	比率(%)
(資産の部)				
流動資産	538	516	21	104
固定資産	3,170	3,196	△26	99
経営安定基金資産	6,779	6,751	28	100
機構特別債券	2,200	2,200	—	100
資産合計	12,688	12,664	23	100
(負債の部)				
流動負債	505	563	△58	90
固定負債	1,258	1,266	△7	99
機構特別債券引受借入金	2,200	2,200	—	100
負債合計	3,963	4,029	△65	98
(純資産の部)				
株主資本	1,851	1,791	59	103
資本金	90	90	—	100
資本剰余金	1,534	1,534	—	100
利益剰余金	227	167	59	136
経営安定基金	6,822	6,822	—	100
経営安定基金評価差額金	△42	△70	28	—
その他の包括利益累計額	1	0	0	306
少数株主持分	91	91	0	101
純資産合計	8,724	8,634	89	101
負債純資産合計	12,688	12,664	23	100

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 3. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	当第2四半期 連結累計期間 〔平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで〕	前第2四半期 連結累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕	増減	比率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	164	91	72	179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142	△90	△51	157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6	△12	6	52
現金及び現金同等物の増減額	15	△11	26	—
現金及び現金同等物期首残高	205	217	△12	94
新規連結に伴う現金等の増加額	0	—	0	—
現金及び現金同等物期末残高	220	206	14	107

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

#### 4. セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）

（単位：億円）

		運輸業	物品 販売業	不動産 賃貸業	ホテル業	その他	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
当第2 四半期 連結累計 期間	売上高								
	(1)外部顧客への売上高	411	220	111	42	63	850	—	850
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	18	61	12	1	119	212	△ 212	—
	計	430	282	124	44	183	1,063	△ 212	850
(注1)									
	セグメント利益	19	6	36	3	7	73	△ 146	△ 73
前 年 同 期 増 減	売上高								
	(1)外部顧客への売上高	17	22	7	11	1	60	—	60
	(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	△ 11	1	0	0	△ 8	8	—
	(対前年同期比)	(104%)	(104%)	(108%)	(136%)	(101%)	(105%)		(108%)
	計	17	11	8	11	2	51	8	60
	(対前年同期比)	( -%)	( 96%)	(121%)	(186%)	(120%)	(178%)		( 88%)
	セグメント利益	23	△ 0	6	1	1	32	△ 22	10

- (注) 1. セグメント利益は、営業利益を表示しております。なお、運輸業のセグメント利益には、経営安定基金運用収益(120億円)、及び機構特別債券受取利息収益(27億円)を含めて表示しております。  
2. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

#### 5. 四半期連結包括利益計算書

（単位：億円）

	当第2四半期 連結累計期間 〔平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで〕	前第2四半期 連結累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕	増減	比率(%)
少数株主損益調整前四半期純利益	62	28	34	224
経営安定基金評価差額金	28	△ 127	155	—
その他の包括利益	0	△ 1	2	—
四半期包括利益	92	△ 100	192	—
(内訳)				
親会社株主に係る四半期包括利益	89	△ 101	190	—
少数株主に係る四半期包括利益	3	1	1	192

- (注) 1. 経営安定基金評価差額金を包括利益に含めております。  
2. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

6. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：億円)

	25年3月期 〔平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで〕	24年3月期実績 〔平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで〕	増 減
営業収益	1,740	1,650	89
営業利益	△ 230	△ 241	11
経常利益	50	17	32
当期純利益	20	△ 26	46

## 平成25年3月期 第2四半期個別決算概況

### 1. 四半期損益計算書

(単位：億円)

項 目	当第2四半期累計期間 〔平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで〕	前第2四半期累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕	増 減	比率(%)	25年3月期 第2四半期 業績予想
営業収益	419	400	18	105	416
(うち鉄道運輸収入)	(343)	(329)	(13)	(104)	(-)
営業費用	530	513	17	103	-
営業利益	△111	△112	0	-	△112
営業外損益	156	133	22	117	-
(うち経営安定基金運用収益)	(120)	(124)	(△4)	(96)	(-)
(うち機関特別債券受取利息収益)	(27)	(-)	(27)	(-)	(-)
経常利益	44	21	23	208	38
特別損益	△3	△7	4	-	-
税引前四半期純利益	41	14	27	294	-
法人税等	0	0	0	100	-
四半期純利益	40	13	27	301	38

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

(営業収益の内訳)

(単位：億円)

項 目	当第2四半期累計期間 〔平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで〕	前第2四半期累計期間 〔平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで〕	増 減	比率(%)
鉄道運輸収入	343	329	13	104
定期外収入	285	273	12	105
定期収入	57	56	0	101
関連事業収入	50	47	2	106
不動産賃貸	27	25	1	106
その他	23	22	1	106
その他収入	25	23	2	110
旅行業収入	7	6	0	105
鉄道線路使用料	5	4	0	122
その他	13	12	1	109

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2. 四半期貸借対照表

(単位:億円)

	当第2四半期 会計期間末 〔平成24年9月30日〕	前会計年度末 〔平成24年3月31日〕	増 減	比率(%)
(資産の部)				
流動資産	287	322	△ 34	89
固定資産	2,654	2,653	1	100
経営安定基金資産	6,779	6,751	28	100
機構特別債券	2,200	2,200	—	100
資産合計	11,922	11,926	△ 4	100
(負債の部)				
流動負債	356	431	△ 74	83
固定負債	941	942	△ 0	100
機構特別債券引受借入金	2,200	2,200	—	100
負債合計	3,498	3,574	△ 75	98
(純資産の部)				
株主資本	1,643	1,602	40	103
資本金	90	90	—	100
資本剰余金	1,534	1,534	—	100
利益剰余金	18	△ 21	40	—
経営安定基金	6,822	6,822	—	100
経営安定基金評価差額金	△ 42	△ 70	28	—
評価・換算差額等	0	△ 1	1	—
その他有価証券評価差額金	0	△ 1	1	—
純資産合計	8,423	8,352	71	101
負債純資産合計	11,922	11,926	△ 4	100

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

3. 平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:億円)

	25年3月期 〔平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで〕	24年3月期実績 〔平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで〕	増 減
営業収益	841	821	19
営業利益	△ 285	△ 307	22
経常利益	6	△ 44	50
当期純利益	10	△ 47	57

## 鉄道輸送量及び鉄道運輸収入の比較

(単位:百万人、百万人扣、百万円)

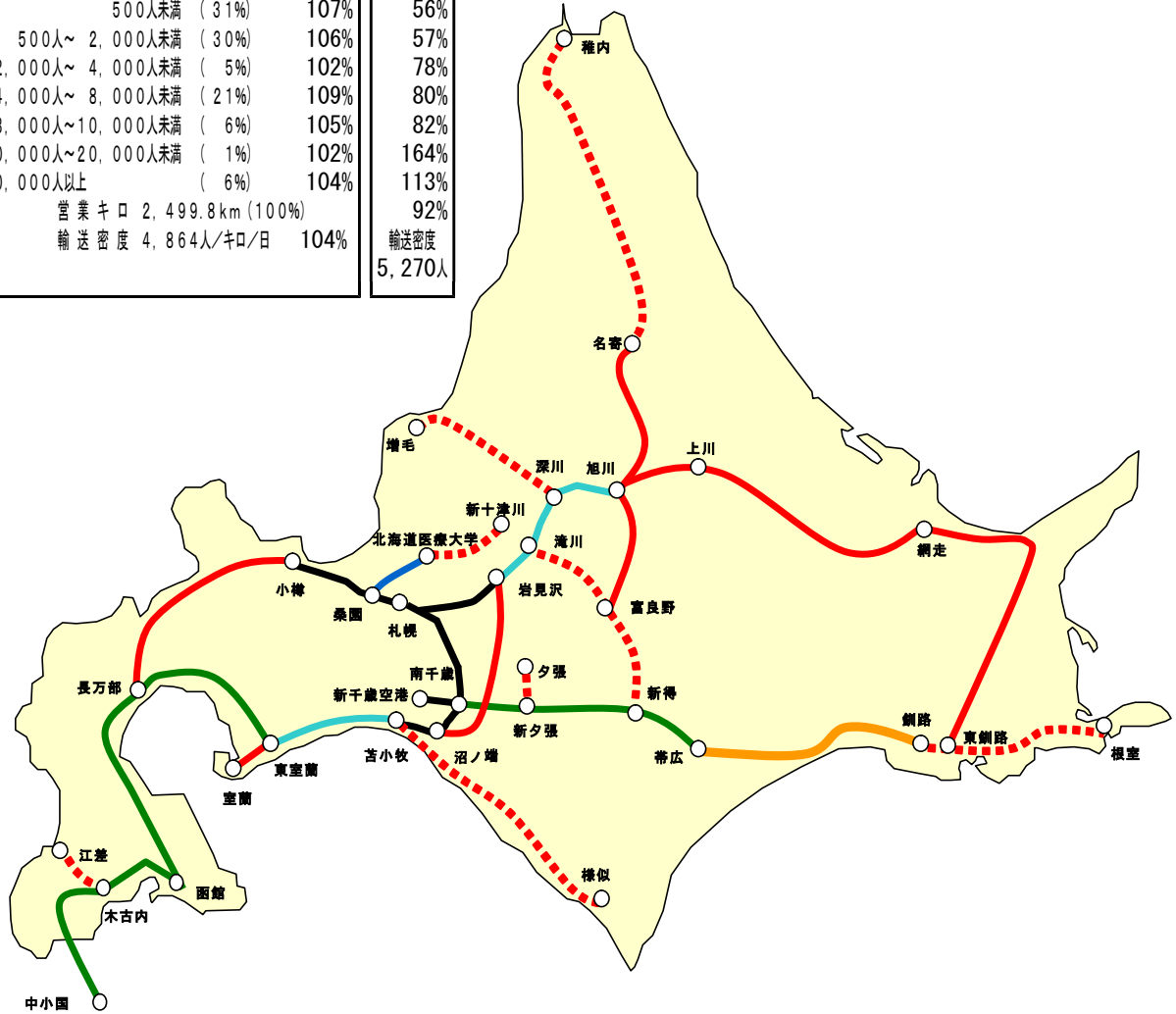
		平成24年度	平成23年度	増減	比率(%)
		上期	上期		
鉄 道 輸 送 人 員	定期	39	39	0	100.9
	定期外	27	26	1	103.4
	(百万人) 計	66	65	1	101.9
鉄 道 輸 送 量	定期	772	765	7	100.9
	定期外	1,453	1,373	80	105.9
	(百万人扣) 計	2,225	2,138	87	104.1
鉄 道 運 輸 収 入	定期	5,726	5,683	42	100.7
	定期外	28,577	27,306	1,270	104.7
	荷物	5	6	△ 0	96.2
	(百万円) 合計	34,309	32,996	1,312	104.0

(注) 鉄道運輸収入は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## お客様のご利用状況(平成24年度上期・速報)

凡例	輸送密度 (営業キロ割合)	前年度上期の輸送密度対比	H5年度輸送密度との対比
.....	500人未満 (31%)	107%	56%
.....	500人~ 2,000人未満 (30%)	106%	57%
.....	2,000人~ 4,000人未満 (5%)	102%	78%
.....	4,000人~ 8,000人未満 (21%)	109%	80%
.....	8,000人~10,000人未満 (6%)	105%	82%
.....	10,000人~20,000人未満 (1%)	102%	164%
.....	20,000人以上 (6%)	104%	113%
営業キロ 2,499.8km (100%)			92%
輸送密度 4,864人/キロ/日		104%	輸送密度 5,270人



○ご利用が多い区間 (輸送密度10,000人以上/キロ/日)

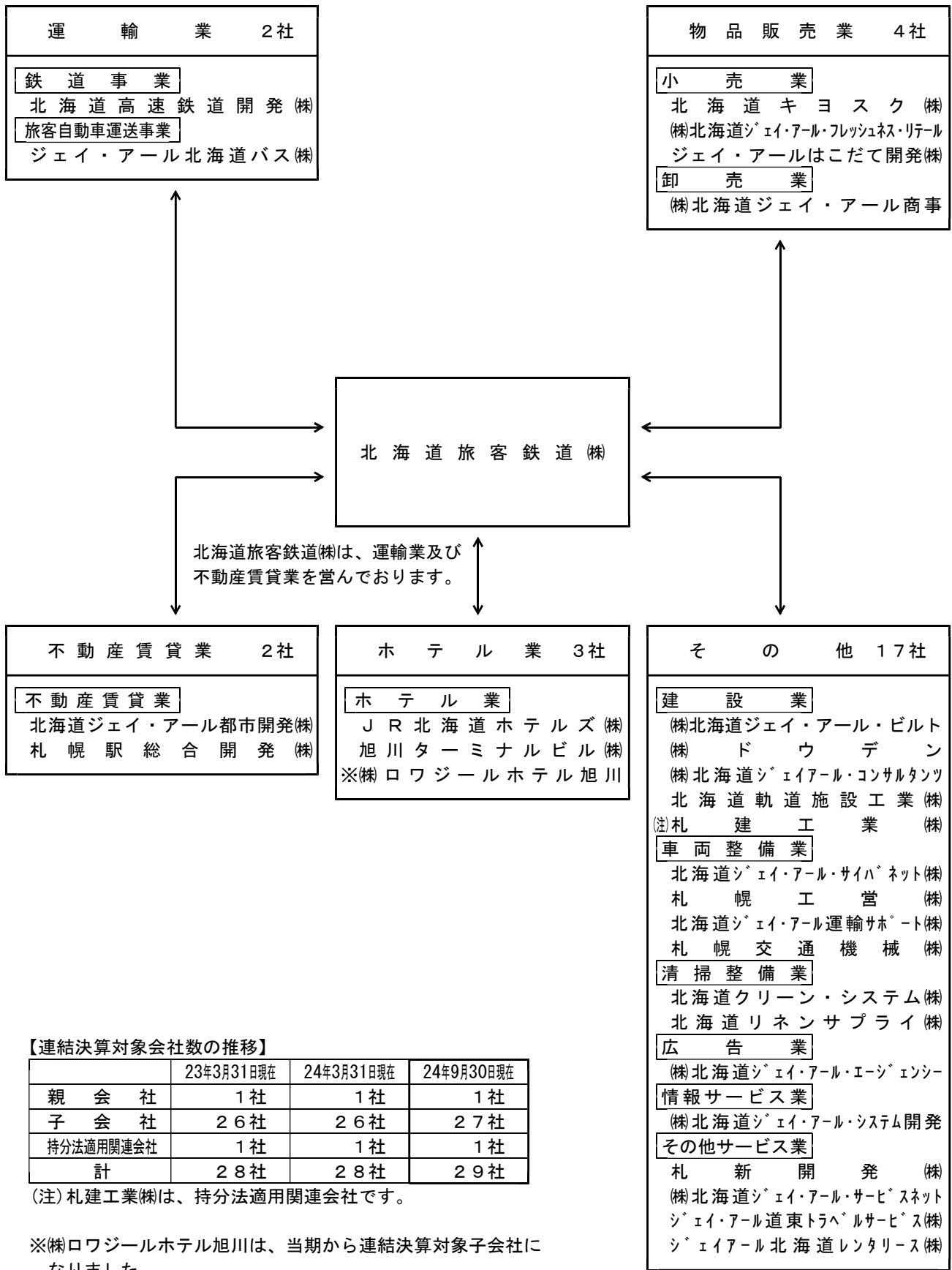
区 間	営業キロ (km)	平成24年度上期輸送密度(速報)		
		人/キロ/日	対前年上期増減	対前年上期比(%)
千歳・室蘭線 白石～苫小牧	65.4	44,348	2,284	105
函館線 札幌～岩見沢	40.6	44,176	912	102
函館線 小樽～札幌	33.8	43,925	716	102
千歳線 南千歳～新千歳空港	2.6	26,649	3,011	113
札沼線 桑園～医療大学	28.9	16,423	356	102

○ご利用が少ない区間 (輸送密度500人未満/キロ/日)

区 間	営業キロ (km)	平成24年度上期輸送密度(速報)		
		人/キロ/日	対前年上期増減	対前年上期比(%)
江差線 木古内～江差	42.1	51	6	113
札沼線 医療大学～新十津川	47.6	100	4	104
石勝線 新夕張～夕張	16.1	111	2	102
留萌線 深川～増毛	66.8	169	1	101
根室線 滝川～新得	136.3	325	21	107
日高線 苫小牧～様似	146.5	341	5	102
根室線 釧路～根室	135.4	461	47	111
宗谷線 名寄～稚内	183.2	484	38	109

(注) 輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます (線区輸送人キロ÷営業キロ÷日数)

連結決算対象会社の概要



【連結決算対象会社数の推移】

	23年3月31日現在	24年3月31日現在	24年9月30日現在
親会社	1社	1社	1社
子会社	26社	26社	27社
持分法適用関連会社	1社	1社	1社
計	28社	28社	29社

(注) 札建工業(株)は、持分法適用関連会社です。

※(株)ロワジュールホテル旭川は、当期から連結決算対象子会社になりました。



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

会社名 北海道旅客鉄道株式会社 URL <http://www.jrhokkaido.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 明夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 島津 勝一 (TEL) 011(700)5731

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	85,083	7.7	△7,321	-	7,496	75.1	5,960	125.7
24年3月期第2四半期	79,019	△0.6	△8,327	-	4,280	△33.8	2,641	△42.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 9,234百万円(-%) 24年3月期第2四半期 △10,014百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	33,111.37	-
24年3月期第2四半期	14,673.25	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,268,839	872,455	68.0
24年3月期	1,266,479	863,498	67.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 863,288百万円 24年3月期 854,381百万円

### 2. 配当の状況

実施していません。

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	174,000	5.4	△23,000	-	5,000	182.8	2,000	-	11,111.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有・無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無  
 (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
 ④ 修正再表示 : 有・無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	180,000株	24年3月期	180,000株
25年3月期2Q	-株	24年3月期	-株
25年3月期2Q	180,000株	24年3月期2Q	180,000株